



遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475



2023年 花角知事の年頭記者会見に「くぎを刺しておきたい」

跳 少子化対策・県経済の活性化など ステップアップは大事だが原発再稼働はダメ

1月4日、花角知事は県庁で定例記者会見を開き、「今年を漢字一文字で表すのならば、卯年にかけて「跳」という字にしていきたい。県の抱える様々な課題・懸案が大きくステップアップできる。そういう年にしていきたい」と今年の抱負を述べました。

私たちも新年にはこれまでできなかったことを「今年こそは」とステップアップを誓います。

しかし、柏崎刈羽原発の再稼働については願い下げです。とりわけ、岸田首相は原発の再稼働や新増設に前のめり。国会にも諮らず国民の不安や疑問の声に耳を傾けることなく、閣議決定でことを進めることばかり。民主主義を破壊する暴走は許すことができません。

大雪で避難など出来る訳がない

さて、今冬の大雪で原発事故からの避難などできないことがはつきりしました。原発再稼働問題は知事一人で決めるな！県議会だけで決めるな！県民一人一人の声を聞け！

みなさん、「原発再稼働反対！」の声をさらに大きく広げましょう。



12月13～15日の厚生環境委員会で質疑しました。

福祉保健部

① 新型コロナ感染症対策

○医療体制のない介護現場に医療が求められている実態は問題だ。

○デイサービスや訪問介護など居宅系のサービス施設は、防護資材をしいるが資材への支援がない。介護従業者や利用者への感染防止のために防護資材は必要だ。必要な支援をすべき。

② 県央圏域の医療体制について

○県央基幹病院の開院時の計画について

○看護師の体制について

○県央基幹病院に救急・手術・感染医療が集中する体制ではリスクを伴う。夜間の2次救急病院が他に必要である

防災局

○県立病院の物価高騰の影響について

○へき地4病院の市町村主体の運営はコロナや物価高騰の中でますます困難になっている。県立で維持していくべきだ。

○患者や職員のコロナ感染により、複数の病院で入院制限や受診制限などが行われている。新興感染症を含め感染医療を視野に入れた取り組みが求められる。

○身代金要求型コンピュータウィルスのサイバー攻撃による病院の被害が相次いでいる。県立病院のセキュリティ対策は、

12月県議会：一般質問は出来なくても、厚生環境委員会で、県の姿勢を質す（防災局、病院局、福祉保健部、環境局）

○岸田内閣は原発政策を転換し、23年夏以降、再稼働を進めるとした。柏崎刈羽原発の6・7号機が含まれていることは、大問題であり、地元住民無視ではないか。

○原発依存のエネルギー政策が、再エネ導入を妨げている。

○避難委員会委員の大河陽子氏、清水晶紀氏が「検証作業は課題の抽出で終わりにしないよ、というのが委員の共通認識だ」と指摘している。

○実効性ある避難計画のために、知事は「国、市町村、関係機関とも連携し、県として責任を持って対応していきたい」と答弁しているが、県がどのようなイニシアチブを發揮するかが一番の問題だ。